



しにかわ 報 廣

発行 川西町・町長根津正三 編集 企画室 報 廣 北村準一 定価 1部5円 印刷 白南風社

— 9月1日現在 —	
男	5,585(-23)
女	5,763(+ 8)
計	11,348(-15)
世帯数	2,517(- 1)
()内は前月との比較	

敬老の日を前にして

町政コーナー

伊友地区に建設中であつた老人
いこの家「月見荘」が完成し、
明十一日開所式が行なわれる。
六月十一日着工以来三か月、契約
期限より数日早く完成をみたわけ
である。木造平家建て、延べ二六
四平方メートル(八〇坪)の内部
施設は、ステージつき三十六畳の
大広間と豪華な男女別浴室を主体
に、少人数の利用に供する小部屋
三のほか、事務室、ボイラー室、
便所等がある。その敷地は、月見
平均寿命の伸びと出生率の低下
がわが国における高齢人口の率を

前進した町の 老人対策

年々高めているが、この傾向は若
年層の流出の激しい過疎地帯にお
いては、いっそう顕著なものである
現に川西町の老人人口率は、国の
それより常に四〜五割高い数字を
示している。その上最近の傾向と
して老人自殺者の率が高いことが
問題となっている町としては、漫
然と国県の施策のみを待っている
わけにはいかない事態に迫られて
おり、乏しい財政の中からその対
策に最善の努力が払われている。
すなわち、ことしの老人福祉予
算は千三百九十七万円と一躍前年
度の十三倍に増額されている。こ
れは、全体の八割に当たる千五百
十万円が、いこの家建設費で占め
られていることが主要な原因であ

るが、ほかに、敬老祝金、ねたき
り老人見舞金、特殊療台貸与等
いくつかの重要な新規事業も計上
されている。敬老祝金は七十五歳
以上の高齢者に年額一千元を支給
するもので、ことしは敬老の日を
期して三百九十五人に贈られる。
ねたきり老人見舞金は六十五歳以
上の該当者に支給されるもので、
現在十八人の該当者がある。特殊
療台は傾斜角度等を自由に調節で
きるものを、ねたきり老人のうち
一定の要件を備えた者に貸しつけ
られる。以上のほか、継続事業と
して家庭奉仕員の設置、老人健康
診査、老人クラブ補助等がある。

月見荘で 心の安らぎを

これらは、老人福祉の理想から
は、なおほど遠いものがあるとし
ても、町としては画期的な前進で
あり、その財政負担も決して軽い
ものではない。まして、現在切実
な問題となっている老人医療の公
費負担等については、貧弱な町村
財政をもつて解決することは至難
であり、国の責任において一日も
早く実現することが切望される。
本来老人福祉の基本は国の施策
に待つべきものであり、町には国
の施策を補ってキメ細かく果たす
べき基礎的の地方公共団体としての
役割りがある。その意味において
月見荘建設の意義は、老人のもう
一つの心の病氣ともいふべき孤独
感による精神的不安を少しでも除
去して、その安らぎを取りもどす
ためのよりどころとすることであ
る。今度十分活用し、実効をあげ
ることを確信したい。



本格的な 内装工事

役場庁舎増築③

上の写真は、八月末に神社
町の路上で撮影したものです
これでは、またサッシが見
えませんが、いまでは、その
取り付けを終了し、左官・タ
イル工事も始まりました。
本格的な内装工事にかかる
というのが現在の状況で、境
も打ち落とされました。広く
なる庁舎で、行き届いたサー
ビスを目ざして、工事は順調
に進んでいます。

行事

九月

- 一日 災害復旧工事等入札
- 四日 民生委員会
- 六日 中子連訪調査
- 七日 秋季消防演習
- 七日 元町諏訪入連訪調査
- 八日 農業共済損害評価会
- 八日 選挙管理委員会
- 十日 越ヶ沢老人・婦人学級
- 十日 水害予防組合会議

- 十一日 老人いこの家開所式、午前十時半から伊友月見が原の同所。
- 十三日 橋地区敬老会、午前十一時から橋小学校で開く。
- 十四日 農業委員会、午前九時から千手診療所で開く。
- 十八日 町議会定例会、人事関係(教育委員・選挙管理委員・固定資産評価審査委員の選任)や条例制定(老人いこの家設置関係の条例)が議題として予定され、千手診療所で開く。
- 二十五日 町交通対策協議会(会場など未定)

- ◇がん征臣月間 ◇精神薄弱者愛護月間 ◇野犬一掃運動月間 ◇簡易保険傷害特約普及月間 ◇身体障害者雇用促進運動月間 ◇老人福祉週間(十五〜二十一日) ◇働く婦人の福祉運動週間(十五〜二十四日) ◇結核予防週間(二十四〜三十日)

町議会報告(第六回臨時会)

千手地区簡易水道工事請負を議決

単年度では最高の六千六百万

千手地区の簡易水道工事請負契約について... 契約の相手方(北栄建設)等、いずれも原案と折り可決しました。

北栄建設が落札

以下は、この臨時会におけるおもな質疑の模様です。根津町長 提案理由を説明します。

に仮契約を終え、段取りを整えていますが、議会の議決を待たなければ仕事を開始できません。



品株式の仙田工場が完成し、8月30日、盛大に落成式が行なわれました(写真)この工場の製品はメリヤスはだ着で、今月中旬から予備操業、11月から格的操業が開始されます。

工場誘致

市川富二氏 昨年の工事費と今回の工事費の額について、大略でよいが説明してほしい。

根津町長 昨年の場合は、山の根を除いた千手地域の水道を布設したいということを申請する



水洗トイレの先進地視察 先月24日、婦人会と衛生推進員の代表25人が、部落単位で水洗便所設置を進めている栃尾市山葵谷(わさびだに)を視察いたしました。

建設工事請負の状況

- ①は施行所 ②は請負業者 ③は請負金額
土建 ③七万九千円 ※同 ①上野 ②吉楽土建 ③八万三千円
山 ③九万六千円 ※同 ①坪山 ②川西建材 ③七万八千円

民俗資料

- ※建設機械車庫新築 ①中仙田 ②小川建築 ③百四十五万円
※道路舗装 ①上野 ②野沢組 ③四万五千円
※道路災害復旧 ①中仙田 ②丸山工務所 ③八十三万一千円

国民年金の加算制度

十月から加入開始

国民年金に、加算年金制度が取り入れられることになりました。これは、いくら余分の保険料を納めてもいから多額の年金を受けたいという希望者がたくさんいるため、法改正をした結果、十月一日から実施されるもので、希望者だけ加入する任意制度です。

加入できる人

現在、国民年金に加入している人で、
 ① 国民年金の所得申告者または事業専従者に限られま
 す。いわば、所得のある人から加入していただくというもので、保険料の免除を受けている人は加入できません。
 ② 保険料 月額 定額 保険料 月額 四百五十円のほかに、加算保険料として月額三百五十円を納入していただきます。(合計月額八百円になります。)

掛金を減免

心身障害者扶養共済制度

ことし四月にスタートした新簿具心身障害者扶養共済制度は、心身に障害のあるかたの保護者から掛金を納めていたことにより保護者が万一死亡されたような場合、残された障害者に対して年金を支給し、お互いに救済しようという趣旨のもので、
 ① 年金は月額二万円。したがって、掛金も千円から千五百円(加入者の年齢によって異なる。)とかなりの高額になっています。
 ② この、掛金の高額であるために希望がありながら、加入をためら

〔計算例〕

保険料を定額分・加算分とも25年納めた場合の老齢年金額
 定額分 320円 × 12月 × 25年 = 96,000円
 加算分 180円 × 12月 × 25年 = 54,000円
 } 合計 150,000円

料を納めた期間
 年金額 加算
 保険

っているようなかたはいないでしょうか。
 もし、そのようなかたがおりましたら、先月一日から、掛金の減免措置を講ずることになりましたので、この際、加入をされるようお勧めします。

赤い羽根共同募金運動

十月一日から始まる赤い羽根共同募金運動は、ことしで二十四年目を迎え、七十年代の充実した社会福祉事業実現のため、いっそうの発展を期しています。

- ▽生活保護を受けている者 一〇〇%の減免
- ▽町民税の非課税者 五〇%の減免
- ▽町民税の均等割だけを課税されている者 三〇%の減免

う財源をもちたしているのです。集まったお金は、
 ○恵まれない人たちに三一・〇%
 ○地域福祉の向上に 二六・八%
 ○福祉施設に 二六・六%
 ○社会福祉総合計画等に二・九%
 ○災害の緊急援護に 二・九%
 ○運動推進に 九・八%
 以上のように使われています。

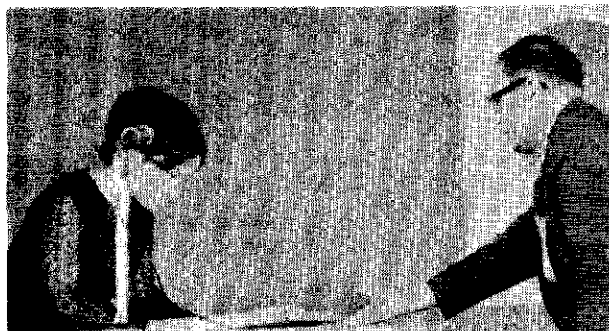
霊きゅう自動車 運送を開始

町では、葬祭公営計画を推進するため、霊きゅう自動車事業の具体化を図っていたところ、このほど免許がおりましたので、次の要領で運行することになりました。
 ○運行開始 九月十日から
 ○運行区間 出棺場所から千手火葬場までの送迎
 ○料金 千九百円
 ○申込み 役場窓口へ

8/15 成人式に拾う



△開式、全員起立して「君ヶ代」を歌う



△成人者代表の大海みき子さんに、根津町長から記念品を贈る。



△講師に糸川英夫博士を迎えてデラックス記念講演

敬老祝金、三九五五人に

十五日から老人福祉週間

十五日は敬老の日。多年にわたって社会につくしてきた老人を敬愛し、長寿を祝うとともに、とかく、孤独でせむじまな生活に陥りやすい老人の生活を、明るく豊かなものにするための日です。すべての人が、老人福祉についての関心と理解を深め、平和な家庭、明るい社会をつくり、お年寄りのみならず、さんからも、時代とともに生きる意欲を盛り上げていただくというものです。

みんなで築く

豊かな老後

行事としては昭和二十六年から実施され、「としよりの日」と呼ばれていたものですが、三十八年の老人福祉法制定を機会に、老人の強い要望や法律の名称に合わせる意味から「老人の日」と改められ、さらに、四十一年、国民の祝日に関する法律の改正で「敬老の日」となったのはご存じのとおりです。

この日を中心に、みんなが築く豊かな老後をモットーとした運動も展開されるわけですが、ことしから、町では、七十五歳以上のかたに敬老祝金(千円)を贈ることになりました。この該当者は三百九十五人、地区別では千手百十四人、上野六十四人、橋八十九人、仙田百二十八人という内訳になっています。

その名も

「月見荘」

一面の町政コーナーでご覧のように、伊友に建設中だった老人いこいの家が完成(写真)、明十一日に開所式を行なうことになりました。またかねて老人クラブ員から募集していたこの施設の名称については、先月十九日に、応募された五十点を審査し、中仙田・山の根・一分団・伊友・室島の各クラブ、それに仁田の木村庄平さんから寄せられた「月見荘」というのが入選し、正式に命名されました。



また、県では、例年のように、七十五歳以上のかたに記念菓を、九十歳になったかたに記念品とお祝い状を贈ります。町でこんど丸

十歳になったのは、小林直三さん(中島町)・宮ソメさん(発電所通り)・広田ノイさん(沖立)・中條さねさん(岩瀬)の四人です

10月1日 国勢調査

十月一日に、第十一回の国勢調査が実施されます。国勢調査は、全国・都道府県・市区町村の人口や男女、年齢職業などの構成を明らかにし国はむろんのこと、市町村の行政の基本となる資料を得るために、五年に一回行なわれるものです。

最近の、著しい経済成長にともなう人口移動の激化によって、都市では過密現象が、農漁村では過疎現象が起っています。この過疎過密の対策のほか、地域計画、道路計画、社会福祉、青少年対策老人対策などの諸施策をきめこまかく行なうためには、新しい、し

かも詳細な資料がどうしても必要になります。そのため、今回の調査では、いままでの調査項目以上に、豊富で詳細な統計を作成することになっていきます。

国勢調査は、調査員が中心となつて実施します。調査員は、今月二十四日から三十日までの間に、受持ち調査区の各世帯に「調査票」と「記入例」を配り、記入を依頼します。そして、十月一日から五日までの



シンボルマーク

戸籍の窓から

うぶ声—おすこやかに

侯坂 美紀	國夫	長女	上	町
藤巻 尚仁	建一	長男	発電所通	
平野 美保	政満	長女	東善寺	
星名 克之	恭二	三男	越ヶ澤	
茂野 和美	健一	二女	藤澤	
茂野美佐子	整二	長女	藤澤	
五十川峰夫	庚平	二男	学校町	
星名 歌織	四郎	二女	上野	
小川 由起	金治	長女	沖立	
佐藤千枝子	幸男	長女	伊友	
藤田 博行	義幸	二男	根	
青野奈美子	武夫	長女	岩	
			深	
			順	

たかさこ—ご円満に

- ◎新郎 平野 優一 山野田
- ◎新婦 佐藤しげ子 岩手から
- ◎新郎 星名 明彦 上野
- ◎新婦 和田壽恵子 寺泊から

昇天—こめい福を祈る

- 登坂めぐみ 岩瀬
- 宮 佐一郎 発電所通り
- 南雲 ミヨ 中仙田
- 渡貫 鹿蔵 新町新田
- 山田 サン仁 田
- 田中 ソデア 小白倉
- 高橋 庸吉 高倉

急患以外は

時間内に受診を

県医師会では、八月一日から診療時間を定めました。これは、医師の研修時間確保と経営および労務管理の合理化が目的です。急患以外は、病院あるいは診療所に表示してある時間内に受診するように協力願います。(保険課)

納税メモ

固定資産税

今月は、第三期分の納期です。最近、車の増加が目立ちますが、八月末の軽自動車税対象の登録台数は、
バイク五〇〇〇以下一〇〇台
五〇〇—一二五〇〇
九二一台
その他二輪 五六台
耕運機 一〇五八台
軽三輪 一二台
軽四輪(貨物) 五三五台
/(乗用) 一八九台
以上で、バイク等二輪は十世帯に八台、軽三・四輪車は十世帯に三台の割合です。

かわにレ 俳壇

よく笑う女のうちわよく動く
沖釣にあきし屋敷や舟の中
とりとり色付く露の干草にて
中仙田 樋口純一
太田白南風選
大倉 金子 洋石
元町 金子 鉄舟
新葉をます疎小屋に敷きつめし
稲の穂の垂るる案山も傾きたる
松風園 南雲 文峯
早生の穂の出揃近し田水見る
悠久荘 金子 義夫
秋水となって滝落つ古庭かな
千手 高橋 花舟
土埃かたまりとべる水を打つ